

《父の日・聖餐式》

主 日 礼 拜

司 会	① 8時半～	② 10時半～	③ 夜7時～
奏 楽	① 石井 師	② 石井 秀人兄	③ 石井 師
祈 禱	① 石井 師	② 白川 達男兄	③ 石井 師
賛 美	聖歌85番 & 「愛の絆」		
十 戒	① 使徒行伝3章1～10節		
聖 書	② ルカによる福音書23章32～38節		
特別賛美	大和カルバリー聖歌隊&アンサンブル		
メッセージ	① 「驚き・桃の木・山椒の木」 大川従道牧師		
	② 「赦されつづける人生」 石井 潤牧師		
聖 餐 式	賛美「主イエスの十字架の血で」		
献 金	聖歌229番「おどろくばかりの」		
祝 禱	[献金当番：和田姉・寺澤千		
お知らせ	【司会者】		
賛 美	「主イエス神の愛」		

礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします!
《今週のお知らせ》

1. 本日午後1時～、執事会を行います。今夏の計画のためなど。
2. 今週の祈り会は、①木曜午前10時半～、ボーマン・ルリ子先生(信州ハム特別販売12時)。②夜7時半、大和祈祷会映像。③土曜日夜8時、準備祈祷会(石井師)。
3. 来週日曜礼拝では聖歌隊有志特別賛美。午後は聖歌隊の練習があります。

6/26(月):長野家庭集会

一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [6/18~/25]

[illegible]

「赦されつづける人生」

～自分に絶望し、神に望みを抱く～

…。 「あなたはキリストではないか。それなら、自分を救い、またわれわれも救ってみよ。」 …。「おまえは同じ刑を受けていながら、神を恐れないのか。お互は自分のやった事のむくいを受けているのだから、こうなったのは当然だ。しかし、このかたは何も悪いことをしたのではない。」 …。「イエスよ、あなたが御国の権威をもっておいでになる時には、わたしを思い出してください。」 …。「…。あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう。」

ルカ福音書23章39～43節

主の聖名を崇めます！先週の世の光のコンサートが大きな祝福の内になされたことを心より感謝致します！会場の良さも手伝って、今までにない多くの来場者の皆様がお越しく下さいました。中には「週刊うえだ」の無料イベント掲載欄をご覧になっていらっしゃった方々もおられました。その中には私たちの教会に何度もお電話をかけて様々な悩みをご相談されていた上半週にお住いの男性がおられて初対面をさせていただいて大きな感動をいただきました。その方が来られただけでも今回の集会をして良かったと思いました。引き続き良い働きが継続していくことができますようにお祈りください。

さて本日の聖書箇所はイエス様の十字架の場面です。イエス様は十字架の上でご自身を十字架につけた人々に対して赦しを宣言されました。先週の大手家庭集会でこのルカ福音書23章34節のみ言葉によって救われた二人の男性について学びましたが、それは、太平洋戦争の引き金となった「真珠湾攻撃」の指揮をとった「淵田美津雄」。そして、その日本人の行った攻撃に復讐の闘志を燃やして米国の爆撃機の爆撃隊に加わり、名古屋に爆撃し、中国に不時着したが日本軍に捕らえられ、捕虜として拷問を受け、さらに日本人への恨みによって満たされた「ジェイコブ・ディシエーザー」。彼らはやがて、別々の場所で、別々の時に、このルカ福音書23章34節の主イエスの赦しの言葉に出会い、救われて行きます。そして、それぞれのかつての敵国に出向き、キリストの赦しの愛を語り、平和を訴え続けました。多くの恨みつらみに満たされたかつての敵国の民たちに出会っていきます。大きな抵抗も受けましたが、赤裸々に自らの罪を語り、赦しと平和を訴え続けました。それは大きな影響を与えていきました。その赦しの原点は、自らがどうしようもない罪人であり、それは無知からきたものであったと淵田も述べています。その自らの絶望を知って、キリストの赦しの言葉に出会ったことで、希望を見出し、救いの信仰を持つことができました。イエス・キリストを十字架につけ、このお方の赦しをいただいたのはまさに自分自身だったのだと悟ったのです。

私たちも同様です。自分に語られるイエス様の赦しのことばを受け止めたいと思います。